

# 市内経済も大幅に悪化

## 販売不振による企業整理が増加

帝国データバンク新潟支店がまとめた本年度上半期（2019年4月～9月）の県内企業倒産整理状況は、負債額が10億円以上の大型負債倒産はなかったものの極めて厳しい状況になっています。倒産件数は39件。負債総額は57億3100万円、前期比4件、前年同期比で5件といずれも増加しています。負債額は前期比15・8%、前年同期比8・0%といずれも減少しています。

業種別では、建設業とサービス業がともに9件、小売業が8件、製造業が6件となっています。特に建設業は厳しさを反映して、4期半ぶりの増加になっています。販売不振が35件と圧倒的に多くなっているのが特徴です。上越地区では4件発生、負債総額は4億2400万円となっています。

上野議員は、9月議会ですこしした業況の厳しさや消費税増税対応

ができていない事業者が多く、この時点で増税を強行すれば混乱と経済低迷を招くだけだと指摘しましたが、市は「市内経済は緩やかに回復しているもの」とらえている」と答弁していました。

国もこの深刻な動向を無視できず、多額な補正予算を組んで景気を刺激、底上げをしようとしています。

いずれにしても、今後、消費税増税による経済低迷が確実なだけに、消費税5%への減税を求める運動を強化し、市内事業者の経営と市民の暮らしを守る施策の展開、強化が必要となっています。



# 市民参加・市民に信頼される議会づくりへ 先進事例を学ぶ…議会運営委員会

上越市議会では議会改革推進会議を設置し、さらに改革を系統的、機動的に進めるために、「議会改革推進チーム」で検討を進めています。この間、市民との意見交換会やその中で出された市民の皆さんの意見などを市政に反映させるべく課題調整会議で検討し、フィードバックする制度や、市民団体との意見交換会、女性フォーラムなどを行ってきました。また11月22日には、初の模擬議会が吉川中学校の生徒たちによって行われます。



この6月に公表された早稲田大学マニフェスト研究所の「2018年議会改革度調査」によると、当上越市議会は前年の12位から9位にランクが上がりました。

上越市議会では、さらに市民の皆さんの政治参画、議会の見える化を視点にした改革を進めるために先進議会の視察を行っています。今回は、11月7日、8日の2日間にわたって、大阪府八尾市議会と愛知県犬山市議会を学んできました。

民フリースピーチ制度」です。これは、各定例会開催期間に、市民が議場で議員に対して市政全般や市の一般事務などについて自分の意見を「5分間」自由に発言できる制度です。発言定員は7人ですが、平成30年度に実施されたフリースピーチは1回目7人、2回目6人、3回目7人が発言しているとのこと。市民のフリースピーチ後は、質疑応答は行われませんが、議員から発言の趣旨や背景などを確認することはあるそうです。

## 議会改革の柱・市民フリースピーチ

愛知県犬山市議会では、議会改革を進める中で、市民にとってより役立つ議会にするためには、①市民参加、②議員間討議、③議会の政策立案・政策提言力の向上が不可欠と位置付けて様々な改革を行っています。

終了後は、全員協議会で議員間討議を行い、内容次第では、議会全体の意思として、市当局への申し入れを行うとのことでした。

今回の視察の中で特に注目したのは、「市

が、犬山市では、親子議場見学会、女性議会、オープンドアポリシー（議長室を開放し、気軽に議長と懇談できる日を設定）など多様な取組を行い、親しみやすい議会づくり、市民意見の議会や市政へ反映させていました。大変参考になりました。

# 4地区で議会報告会開催 11月9日頸城区、11日板倉区、13日浦川原区、14日名立区

市民の皆さんの意見をお聞きするため、議会改革の一環として行われている議会報告会・意見交換会が上記の日程で行われています。

このうち頸城区、板倉区では参加者は多くはありませんでしたが、貴重な意見がたくさん出されました。

「総合事務所の時間外受付や火災などの告知を縮小するのはなぜか」、「市の広報を2回から1回にするのはおかしい」など率直な意見が出され、議員の行政監視の意見なども強く出されました。



## 日本共産党上越市議員団ニュース

No.647 2019年11月17日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)